

平成27年度春季特別展

# モノがたりー文士たちの遺愛品ー



会期 平成27年4月29日(水・祝)～6月7日(日)

開館時間

4月29日・30日は、午前9時～午後5時(展示室入場は午後4時30分まで)

5月1日からは、午前9時～午後6時(展示室入場は午後5時30分まで)

5月7日(木)、5月12日・19日・26日、6月2日(いずれも火曜日)

休館日

松山市立子規記念博物館 3階特別展示室

会場

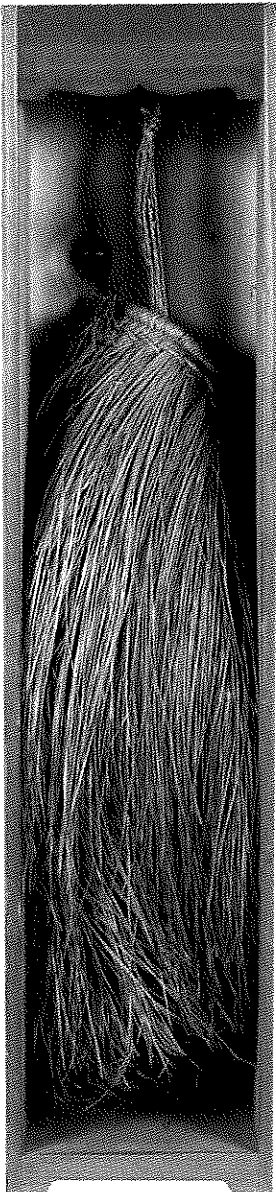
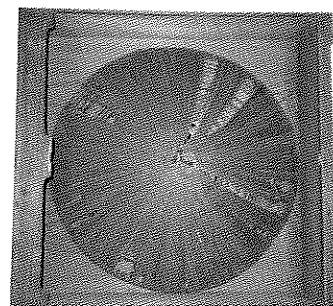
個人2000円、団体1600円、65歳以上1000円、小中高校生無料

観覧料

特典

常設展とセットで特別展の観覧券を購入する場合、特別展の観覧料は2割引・子規博友の会員が特別展の

観覧券を購入する場合、特別展の観覧料は2割引



TEL 089-931-5566

〒790-0857

松山市道後公園1-30

施設運営

管理/株式会社レスバスコーポレーション

<http://sikhakulisp.co.jp/>

松山市立子規記念博物館

# モノがたりー文士たちの遺愛品ー

子規記念博物館では平成二十七年現在、六〇〇〇〇点を超える資料を収蔵しています。

そのほとんどは俳句の短冊や手紙などの紙に書かれた文字資料や図書資料ですが、一方で子規や周辺の人々の遺品類も収集しています。

当館の常設展にもたびたび登場する子規の遺品には、学帽やトランクなどの学生時代に使用したものの、旅行の際に身に付けた蓑かみや笠などがあります。これらの遺品は、時に子規文学の題材となり、後世に描かれた子規の肖像の中にも登場しています。

また、子規の友人や門人たちの遺愛品にも特長があります。たとえば、書家としても知られた河東碧梧桐の印章、能楽に長じた高浜虚子が自身の俳句を記した鼓つづみの革、茶の湯を趣味とした伊藤左千夫の茶道具、九十歳まで生きた柳原極堂愛用の杖など、いずれも彼らの生活や趣味趣向を知ることができる貴重な資料です。

今回の特別展では、当館が収蔵する様々な遺品を関連作品とともに展示し、多彩な「モノ」が語る子規や文士たちの新たな魅力を紹介いたします。



河東碧梧桐の印章

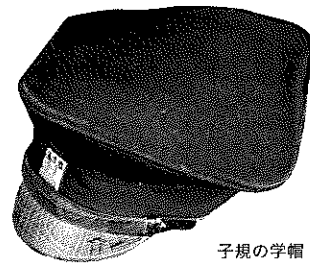
高浜虚子句入り鼓(革)



高浜虚子愛用の羽織



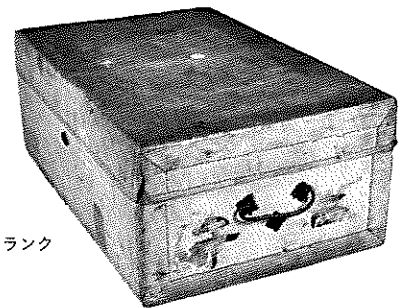
子規の毛布



子規の学帽



柳原極堂の懐中時計



子規のトランク



道後温泉駅より徒歩約5分/道後公園駅より徒歩約5分  
\*公共の交通機関をなるべくご利用ください

## 松山市立子規記念博物館

TEL 089-931-5566 〒790-0857 松山市道後公園 1-30  
施設運営・管理/株式会社レスパスコーポレーション  
<http://sikihaku.lesp.co.jp/>

### 学芸員によるギャラリートーク

展示室において、担当学芸員が特別展の内容を解説します。

日時：5月5日(火・祝)・30日(土) いずれも10時30分から50分程度

\*聴講無料。ただし、特別展の観覧券が必要